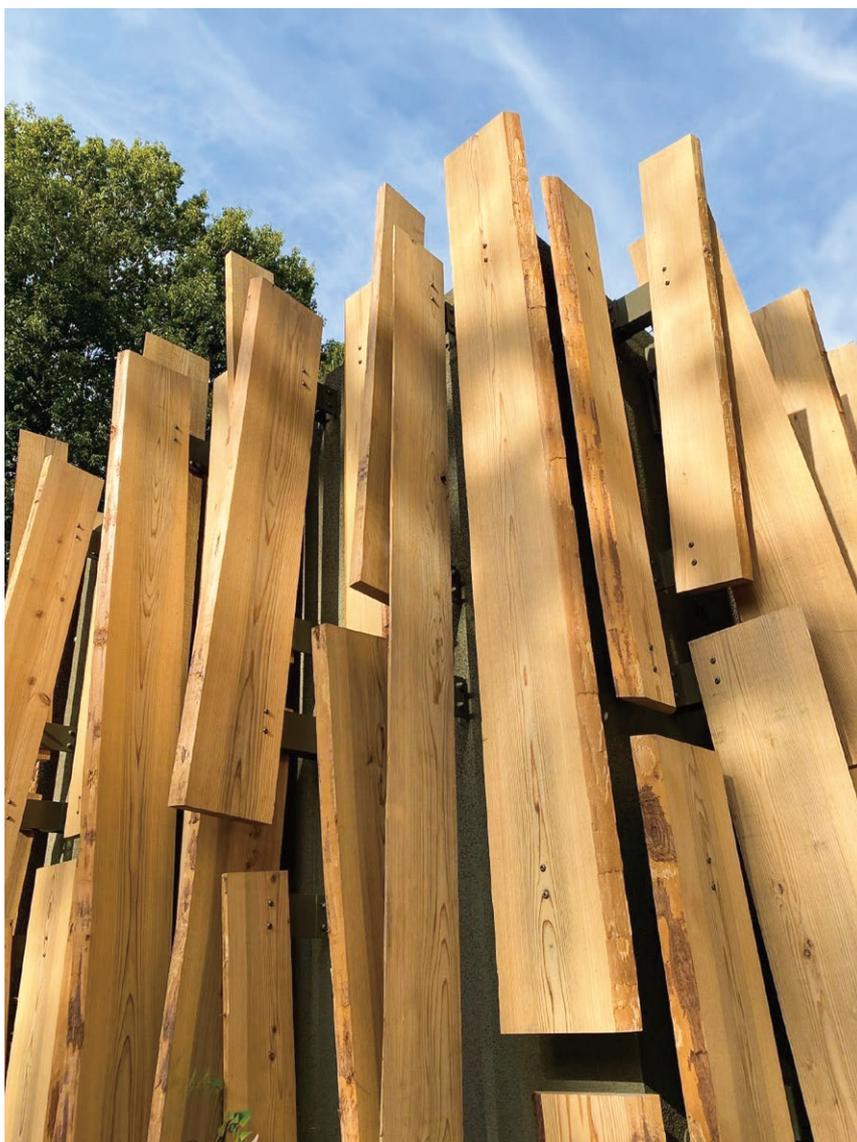


ウツデイ エイジ

◎木材の研究と普及◎ 監修：林産試験場



広葉樹低質材に新たな販路を
～ ひだか南森林組合の取組 その2 ～

ウッドエイジ

木材の研究と普及
第71巻5号・通巻825号

目 次

広葉樹低質材に新たな販路を ～ひだか南森林組合の取組 その2～……………	1
製材加工による利益を山に還元する ～森林組合がつなぐ川上と川中～……………	7
木質バイオマスを効率よく熱利用する……………	9
2022年度通常総会報告……………	11

※森林の循環利用を学ぶための教材開発……………	14
※写真を用いた広葉樹原木の調査……………	17
※3種の木……………	20
※行政の窓 〔令和4年度北海道の林業・木材産業関連施策について〕……	21
林産試ニュース・北森カレッジニュース……………	22

※：林産試だより2022年5月号からの転載
（(地独)北海道立総合研究機構森林研究本部林産試験場 承諾）



鍋島松濤公園トイレ 東京都渋谷区

2021年6月に供用された鍋島松濤公園トイレは、日本財団が中心となって進めている、誰でも快適に利用できる公共トイレを設置するプロジェクト「THE TOKYO TOILET」の1つとして、建築家の隈研吾氏により設計されました。

「森のコミチ」と名付けられたこのトイレは、現代のトイレに求められる多様なニーズ（子育て、身だしなみ配慮、車椅子等）に合わせた5つの分棟を木チップ敷きの小道でつないだ配置になっています。

トイレは、約30ミリの吉野杉の耳付き板240枚を使用したルーバーで覆われており、遠目からは公園に生える木立のように見えます。